

# 高梁川流域地域づくり連携推進事業 成果の合意書

事業名 : 浅口市民ライター育成事業～高梁川流域ライター塾～

グループ名 : 浅口市高梁川流域ライター塾実行委員会

高梁川流域地域づくり連携推進事業は、高梁川流域市町に地域課題を解決するノウハウの拡がりを生み出すことを目的として実施するものである。

本事業の実施にあたり、倉敷市（以下「甲」という。）と浅口市高梁川流域ライター塾実行委員会（以下「乙」という。）は、目指す成果とそれを測る指標を以下の内容で合意する。また、乙は以下の実現を目指して事業を実施し、甲はその進捗状況を確認し、必要に応じて助言又は指導を行う。

## 1 ノウハウの拡がり（グループ参加団体間でのノウハウの拡がりに、どのような成果があるか）

### (1) 長期アウトカム（長期の成果）

目標	地域情報発信の必要性を認識し、「自分たちでもできる」に留まらず「自分たちだからできる・伝えられる」と自信を持つようになる。
----	---------------------------------------------------------------

### (2) 短期アウトカム（令和4年度事業の成果）

目標	moko'a が、はれとこの市民ライターの育成、およびサポートノウハウを学び、浅口市・里庄町で活動する市民ライターを支援できるようになる。
指標	浅口市・里庄町在住の市民ライター活動支援ができるスタッフの数:現状 1人 → 事業実施後 2人

### (3) アウトプット（令和4年度事業の直接の結果）

目標	はれとこが、moko'a にセミナーの運営を通じて蓄積した市民ライターの育成・サポートノウハウを伝える。
指標	協働でのライター塾の開催回数:現状 0回 → 事業実施後 8回

## 2 地域課題の解決（イベント等に参加した住民に対して、どのような成果があるか）

### （1）長期アウトカム（長期の成果）

目標	地域の魅力を発信するライターとして必要な心構え、ライティング・撮影スキルを身につけ、地域の歴史・文化、街づくりに携わる人に寄り添いながら、自信をもって発信する「市民ライター」が増える事。 その結果、地域の情報発信が増加し、地域活動に関心を持つ住民、足を運ぶ観光客などが増え、街が賑わうだけでなく、住民（地元の人）・観光客（外部の人）が対立軸ではなく、「自分たちが住む街（本事業においては主に浅口市）を楽しんだり好きになったりする仲間」となる社会を目指す。
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### （2）短期アウトカム（令和4年度事業の成果）

目標	浅口市・里庄町で市民ライターとして活動する人が増加すること ※活動の定義は、地域情報 Web メディア（とことこシリーズ・Yahoo! JAPAN クリエイターズプログラム、浅口あさ子の情報発信ブログ♪、行政の運営するメディア、など）で記事を執筆すること（個人ブログは含まない）
指標	地域情報 Web メディアで活動する、浅口市・里庄町在住のライター：現状 1 人 → 事業実施後 5人

### （3）アウトプット（令和4年度事業の直接の結果）

目標	浅口市・里庄町の住民で、情報発信に興味がある、または既に行っている人に向けて、情報発信人材を育成するセミナー「高梁川流域ライター塾」を開催してノウハウ・スキルを伝える。
指標	高梁川流域圏に居住・在勤・在学する人の延べ受講者数：現状 0人 → 事業実施後 200人

令和 4年 6月 17日

甲 倉敷市西中新田 640 番地  
倉敷市  
倉敷市長 伊 東 香 織



乙 倉敷市中央 2-13-3  
浅口市高梁川流域ライター塾実行委員会  
一般社団法人はれとこ  
代表理事 戸 井 健 吾

